

令和5年(2023年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年3月 数 量 (トン)	2023年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候も安定し、正品率も高かった。数量は大幅に増加し、平均単価はやや減少しました。	738	98	153%	91%
2		キャベツ	神奈川県産、愛知県産中心の入荷でした。数量はやや減少し、平均単価はかなり減少しました。	985	89	96%	71%
3		きゅうり	埼玉県産、群馬県産中心の入荷でした。定植を遅らせていることもあり、数量は減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	325	351	87%	122%
4		ほうれん草	茨城県産を中心に順調な入荷となりましたが、小松菜に変更する生産者もいるため、数量は減少し、平均単価はやや高く推移しました。	84	460	83%	106%
5		馬鈴薯	気温が高いことにより発芽も早く数量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	385	141	119%	60%
6	果 実	その他柑橘	品物の体質が弱く痛みも多かったため、入荷が少なく、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	526	336	89%	104%
7		りんご	数量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	370	269	141%	78%
8		いちご	天候の影響もあり、数量はやや減少しました。平均単価は増加で推移しました。	197	1,423	90%	111%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上